

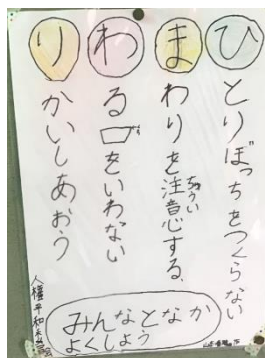
大分教育事務所訪問②-66 (計139)

大分市立明野西小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「個性と創造性に富み、心身ともにたくましい子どもの育成」を達成するために、それぞれの取組指標毎に担当者を決め、教職員の取組状況や子ども達の達成状況、改善方策を明確に定めています。特に授業改善においては、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業を行い、具体的には「【焦点化】＝子どもの特性から授業の手立てを考える」「【視覚化】＝前時の学習内容の掲示、ワークシートの工夫、動画の活用」「【共有化】＝効果的なペアやグループトーク、1人1枚のホワイトボード、タブレットの活用」として、「表現すること」を中心に取り組まれています。

また、子どもの情報を共有するために、スタンディングミーティングによる短時間のケース会議を行うことで、教職員の共通理解を図り一人で抱え込まないような取り組みを行っています。



今後は、研究仮説でもある「表現力」を、本校が育成を目指す(教科横断的な)資質・能力と定め、これまでの実践をとおしながらより明確にされてみてはいかがでしょうか。このような上位目標を決めることで、行事などを企画する際に、目的の共通理解が行われやすくなり、実際の方法や手段は担当者に任せることができます。そのことで、担当者の当事者意識が高まり、それ

ぞれの担当者による協働的な新たなアイデア生まれ、より効果的、効率的な実践へとつながるとが期待されます。

参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp47-53 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア 言語能力

授業から学ぶ

ユニバーサルデザインを取り入れた授業を継続的に行われているので、参観させて頂いたどの学級においても、友達の意見に対して拍手やうなずき等の反応があり積極的に参加する姿勢を感じました。

1年生算数の実際に水(かさ)を直接比較させる場面では、それぞれ子どもの実態に応じて工夫のある実践が行われ興味深く参観させて頂きました。

今後は指導案を作成する際、「振り返り」を教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記してみてもいかがでしょうか。教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで、ユニバーサルデザインの効果がより検証されると思いました。



NO.619 2021年12月 大分市立明野西小学校

あ 明るい子

笑顔があふれる教室だから、自分の考えを伝えることができる。授業も楽しくなる。



NO.620 2021年12月 大分市立明野西小学校

け 元気な子

勇気をもって自分の考えを発表できるのは、肯定的に聴いてくれる友達がいるから。



NO.621 2021年12月 大分市立明野西小学校

の 伸びる子

自分と友達の考えを比べて、共通点や違いを考える。そして、新たに自分の考えを書いてみる。そのようにして伸びていく。